

令和八年度青森山田高等学校A日程学力検査

国語

時間50分

(8時45分～9時35分)

注意

- 1 問題の①は放送による検査です。問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は表紙を入れて八ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 3 受検番号は、検査開始後、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 4 机の上に置けるものは、受検票・鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・鉛筆削りです。
- 5 筆記用具の貸し借りはいけません。
- 6 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 7 印刷がはつきりしなくて読めないときや、筆記用具を落とすときなどは、だまって手をあげなさい。
- 8 「やめなさい」という合図ですぐに書くのをやめ、筆記用具を置きなさい。

答えの書き方

- 1 答えは、問題の指示に従って、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 2 答えはていねいに書きなさい。答えを書き直すときは、きれいに消してから書きなさい。
- 3 答えを漢字で書く場合は、楷書で書きなさい。
- 4 答えの字数が指定されている場合、句読点、記号などを一字と数えます。

1

放送による検査 (16点)

【資料1】

「やさしい日本語」12のルール

- (1) 難しいことばを避け、簡単な語彙を使ってください
- (2) 1文を短くして、分けて書き、文の構造を簡単にしてください
- (3) 災害時によく使われることば、知っておいた方がよいと思われることばは、そのまま使用してください
- (4) 外来語を使用するときは気をつけてください
- (5) ローマ字は使わないでください
- (6) の使用を避けてください
- (7) 掲示物や配布物に使用する漢字や、漢字の使用量に注意してください
- (8) 時間や年月日の表記はわかりやすくしてください
- (9) 動詞を名詞化したものはわかりにくいので、できるだけ動詞文にしてください
- (10) あいまいな表現は、避けてください
- (11) 二重否定の表現は、避けてください
- (12) 文末表現はなるべく統一するようにしてください



【資料2】

寺社境内での飲食禁止

※【資料1】は、弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室作成「『やさしい日本語』にするための十二の規則」を参考に作成されています。なお、同研究室のホームページは、二〇二〇年一月十七日をもって閉鎖されています。

2

次の(1)、(2)に答えなさい。(12点)

(1) 次のア～オの――の漢字の読みがなを書きなさい。また、カ～コの――のカタカナの部分楷書で漢字に書き改めなさい。

ア 論理の飛躍が認められる。

イ 作品のできばえに感嘆する。

ウ 夕食の献立を決める。

エ 無駄な手間を省く。

オ 日本は天然資源に乏しい。

カ 一ミリのゴサもない。

キ 不純物をジヨキヨする。

ク 合唱コンクールでシキ者を務める。

ケ カブ価の値動きに注目する。

コ 昨夜からのひどいせきがオサまる。

(2) 次の文中の「――」に当てはまる漢字を行書体で書いた時、最も適切なものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

庭の木の「――」に鳥がとまっている。

- 1 技
- 2 仮
- 3 枝
- 4 彼

3 次の(1)、(2)に答えなさい。(14点)

(1) 次の文章は、江戸時代後期に書かれた歌文集の一節です。この文章を読んで、あとのア、イに答えなさい。なお、設問の都合上、原文の一部を変えてあります。

雨をなつかしきものにするは、家富める人なり。人多くもたりにて、にぎははしきあたりにも、友垣のとひくる道を絶え、家の業などもさへられて、宿にのみ籠もりをり、文をよみてはいにしへをしのび、文字はかなう書き

すさび、或いはいつき娘に琴かき鳴らさせ、酒温め、良きものとりなめて、ひねもす、夜すがら、ながめ暮らすなむいと楽しき。

ア にぎははしき とありますが、すべてひらがなで現代かなづかいに書き改めなさい。

イ ある生徒が、本文に書かれた内容について次のようにまとめました。

雨の降る一日一夜を楽しむためには、音楽や酒食などがあると良いが、雑事にわずらわされずに時を過ごすことができる。[]が必ずである。

(2) 次の文章は、中国元々明代の詩人劉基の「喜雨(雨を喜ぶ)」と題する詩です。これを読んで、あとのア、イに答えなさい。なお、設問の都合上、一部返り点を省いています。

【漢文】

渙汗如蒸被体流。日高強起倦梳頭。多情一夜千山雨。消盡人間万斛愁。

(注1) 渙汗……流れる汗。(注2) 強起……無理をして起きる。(注3) 倦梳頭……髪をくしで整える気も起こらない。(注4) 消盡……消し去る。(注5) 万斛……きわめて多くの分量。

【書き下し文】

渙汗蒸すが如く体に被りて流れ日高く強起するも頭を梳るに倦む多情なり一夜千山の雨消盡す人間万斛の愁

ア 倦梳頭に、【書き下し文】を参考にして、返り点をつけなさい。

イ 詩人が雨を喜ぶ理由として最も適切なものを、次の1〜4の中から1つ選び、その番号を書きなさい。

- 暑さに汗ばんだ体を快く冷ましてくれるから。
- 雨が降っていると、静かで、朝ゆっくり寝ていられるから。
- 山に降る雨が草木を育ててくれるから。
- 悩み苦しみを洗い流してくれるような気がするから。

4

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)に答えなさい。なお、設問の都合上、原文の一部を変えてあります。(22点)

本文の前段で、筆者は、内閣府が実施した「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」について触れています。「調査」では日本の若者の自己肯定感が欧米諸国に比べて数値が低いという結果が表れますが、単純に「自分に満足しているかどうか」を問う測定の仕方や国によって異なるはずの文化的背景への考察を欠いていることから、調査の妥当性には疑義があると述べています。

(1) ㊦自分の現状に批判的な目を向けることの大切さ とありますが、ある

生徒が、この内容について次のようにまとめました。

Bに入る最も適切な語句を、**A**は六字、**B**は三

字で、それぞれ本文中からそのまま抜き出して書きなさい。

他人と自分を比べることで生じる **A** を通じて、自らの改

善点を見つめ直すための **B** が得られる場合がある。

(2) 変わつ と動詞の活用形が同じものを、次の1〜4の中から一つ選び、

その番号を書きなさい。

1 コンビニに寄って帰ろう。 2 宿題を回収します。

3 先を考えるのが苦手だ。 4 話せばきつとわかり合える。

(3) ㊦そんなことをしていたら自分を高めることができず、成長が止まって

しまう とありますが、ある生徒が、この語句について次のようにまとめ

ました。 **A**に入る適切な内容を、三十五字以内で書きな

さい。

理想と現実との差に落ち込むので、 **A** が大切だ

とされたりするが、その結果かえって成長が止まってしまっておそれもある。

(4) ㊦自己嫌悪は向上心のあらわれ とありますが、ある学級で、この表現

について話し合いました。次は、佐藤さんのグループで話し合っている様子です。 **I**には適切な内容を、三十文字以内で書き、

IIには最も適切な語句を、本文中から二字でそのまま抜き出して書きなさい。

佐藤さん 我自己、理想と現実って、けっこう違っていると思う。

鈴木さん 自分の描く理想と現実とのギャップから、自己嫌悪に陥ること

とは普通にあると思うけど、向上心はそこから生まれてくると

筆者は言っているね。

高橋さん 自己嫌悪って良くないもののように思われているけれど、筆

者の言うように **I** のだとすれば、それがあ

ことで、私たちは成長できるのかもしれないよ。

鈴木さん そう考えてみると、現実とは違う **II** 自己を持つことは

とても大切なんだね。

(5) この文章の内容・筆者の主張について述べたものとして最も適切なものを、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1 思春期以降、自我が目覚め、自己の内面に目が向くようになるのは自然な成長過程といえ、自己評価の低さを否定的にとらえる必要はない。

2 他人のことを気にして落ち込みやすい人に欠点や改善点などを指摘すると、自己への嫌悪感ばかりを強める結果になり、逆効果である。

3 自分と他人を比べることを心理学で社会的比較というが、自他を正しく理解することは難しく、評価を誤ってしまう危険がある。

4 現実自己が成長することによって理想の実現がかなえば、情緒不安定や劣等感などの不適応傾向から解放され、自己肯定感が高まる。

5

次の《A》《B》は、どちらもある聾学校で行われた高校生同士の交流行事の同じ場面を描いたものです。これら二つの文章を読んで、あとの(1)～(6)に答えなさい。なお、設問の都合上、原文の一部を変えています。(26点)

《A》

《B》

——村崎なぎこ『オリオンは静かに詠う』より——

(1) ほとんど と品詞が同じものを、大きな、でも、かえつて、げげんな、
の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

(2) ⑤木花さんの表情が凍り付いた とありますが、ある生徒が、このとき
の「木花さん」の思いを次のようにまとめました。□に入る適切
な内容を、四十五字以内で書きなさい。

□ことを指摘され、衝撃を受けている。

(3) ①隠しきれない不機嫌さ とありますが、「カナさん」は何に対して
「不機嫌」のですか。最も適切なものを、次の1〜4の中から一つ選
び、その番号を書きなさい。

- 1 仲の良くない相手とペアを組むことになってしまったこと。
- 2 交流に備えて勉強してきた手話がまったく通じないこと。
- 3 仕方なく参加したが、この交流会を無意味だと思っていること。
- 4 家でも外でも、聴覚障害のことを意識させられること。

(4) ③驚いた とありますが、ある生徒が、このときの「わたし」の思いを
次のようにまとめました。□に入る最も適切な語句を、七字で、
本文中からそのまま抜き出して書きなさい。

態度から、交流会に意欲的に参加している訳ではなさそうだと思っ
ていた相手の□だったことを意外に感じた。

※問題は、次のページに続きます。

(5) ある学級で、この文章の表現の特徴について話し合いをしました。次は、神谷さんのグループで話し合っている様子です。X、Yに入る最も適切な語を、それぞれ二文字、五文字で、本文中からそのまま抜き出して書きなさい。

神谷さん この文章では、会話部分に普通の「」（かぎ括弧）が用いられていません。代わりに用いられているのは「」（山括弧）、『』（二重かぎ括弧）などですね。

木村さん この場面では、耳が不自由な生徒と身体的な制約のない生徒とのやりとりが描かれており、「」は主にXによる発語を表しているのだと思います。『』は何でしょうか？

菅沼さん 「カナさん」の間違いを指摘している「白田先生」のこの言葉は、Yに表示されたことが《B》に書かれています。

葉は、Xに音声文字を起すアプリケーションを使っていることを表しているのではないのでしょうか。《A》に「カナさん」が振り返ったことが書かれているのは、「先生」が後ろに立っており、その指摘が、音声を伴っていたからだと思います。

(6) 《A》《B》は同じ場面を描いたものですが、文章の語り手が異なっていることが読み取れます。ある生徒が、その根拠を次のようにまとめました。

I Ⅰ Ⅱ Ⅲ

Ⅱには数字を、またⅢには、文章中から登場人物の名前をそのまま抜き出して書きなさい。

《A》《B》では、まず「あたし」「わたし」のようにⅠが変化している。また、この場面にはⅡ人の生徒がいるはずだが、《A》《B》で明記される語り手を除く三人の名前が異なる。ここからそれぞれの語り手がわかる。《B》の語り手はⅢである。

6 次は「大丈夫です」ということばの使い方についての三人の中学生の会話の一部です。これを読んで、あとの(1)～(3)に従って文章を書きなさい。(10点)

山口さん この前コンビニで、レジ袋が必要かどうか店員さんに聞かれて、いらなかったから「大丈夫です」って答えたんだけど、なぜかレジ袋に買ったものを詰められてしまったんだよね。

久保さん そうなんだ。「大丈夫です」って、確かによく使うよね。でも、「大丈夫です」だとレジ袋が必要とも不必要とも、どちらにも受け取られそうじゃない？

山口さん そうかなあ。けっこうみんな「いりません」っていう意味で使っていると思うんだけど。第一、はつきり「いりません」って言い切ってしまったら、それはそれで乱暴な感じがしない？

大西さん 「大丈夫です」のほう表現が柔らかくて丁寧な感じがするね。でも、こういう誤解を招くんだったらはつきり「いりません」って断った方がいいような気がするなあ。

- (1) 題名・氏名を書かないこと。
- (2) 二段落構成とし、それぞれの段落に次の内容を書くこと。
- ・ 第一段落では、会話の一部をもとに、「大丈夫です」ということばの使い方について、自分の意見を書くこと。
 - ・ 第二段落には、第一段落をふまえて、意見の理由を書くこと。
- (3) 百五十文字以上、二百字以内で書くこと。